

# 令和3年度当初予算の概要と審査の内容

## SDGs未来安心予算 ～市民の安心と生活を守る～

一般会計、特別会計、企業会計の予算議案13件を審議し、全ての予算案を原案どおり可決しました。  
一般会計は、新型コロナウイルス感染症対策事業費や保育所等運営事業費の増加などにより、過去最大の予算規模となっています。

### 一般会計

1,195億1,278万円  
(前年度比 5.0%増)

### 特別会計

689億469万円  
(前年度比 3.3%増)

### 企業会計

221億7,512万円  
(前年度比 2.4%減)

### 総務常任委員会

#### 本のまち明石の推進

**問** 令和2年度、コロナ禍で中止していた保育絵本土養成講座は開催するのにか。  
**答** 3年度は基礎コース、応用コースともに定員は少なくなるが再開する方針だ。

**問** 講座の受講対象者を幼稚園教諭、保育士に限定せず広げていく考えはないのにか。  
**答** まずは、市内に約130カ所ある保育施設等に最低1人は保育絵本士が配置できるように養成していきたい。

#### 広報あかしの配布方法

**問** 広報あかしを1人でも多くの市民に読んでもらうための新たな取り組みはあるのにか。  
**答** まずは、市内に約130カ所ある保育施設等に最低1人は保育絵本士が配置できるように養成していきたい。

**答** り組みはあるのにか。  
**答** 多くの人に手に取ってもらえるよう配布場所を増やしていく。現在はスパーや医療機関、高齢者施設などへの設置に向けて調整を行っている。

**問** 紙媒体だけでなく、スマートフォンで読めるアプリ「マチイロ」をもっとPRしてはどうか。  
**答** いつでも、どこでも見ることが出来る「マチイロ」は、閲覧者が昨年の実績で約2千人増えた。今後もさまざまな機会を捉え、さらにPRをしていく。



子どもに読み聞かせ(イメージ)

### 文教厚生常任委員会

#### 成年後見制度の周知と活用

**問** 物事を判断する能力が十分でない人の財産管理などを担う成年後見制度について、どのように市民へ周知しているのにか。  
**答** 明石市後見支援センターでは、制度の概要をまとめたパンフレット等を作成し配布している。また、自治会や高齢クラブ、市民グループ等を対象に出前講座を実施するなど周知に努めている。

**問** 専門的な知識を持つ市民成年後見人の養成状況は。  
**答** 平成27年度から開催している養成講座において、専門知識を学び、実際に市民後見人として活動している人もいる。今後も人材育成に向けてさらに取り組んでいく。

#### 認知症あんしんプロジェクトの推進

**問** 広報あかしで啓発した認知症チェックシートの効果は。  
**答** 令和3年3月1日時点で想定を上回る約2700人もの提出があった。そのうち認知症の疑いがあり、専門医受診を勧奨した割合は50%だった。認知症の不安を持つ人にとってチェックシートが受診のきっかけとなり、一定の効果があつたと考える。今後も認知症の早期の発見と支援に努めていく。



認知症チェックシート

### 生活文化常任委員会

#### マイナンバーカードとマイナポイント取得への取り組み

**問** 国は令和4年度までにマイナンバーカードの普及率100%を目指すとしているが、本市の現状は。  
**答** 交付率は、2年度末で約26%と見込みである。取得は強制ではないため課題はあるが、目標達成に向け取り組んでいく。

**問** 本市にはマイナンバーカードがあれば利用できる住民票のコンビニ交付など、普及啓発を図るためのサービスはないのにか。  
**答** 現時点では、マイナンバーカードを使って利用できるサービスはない。

**問** マイナポイント取得への具体的な支援策は。  
**答** 現時点では、マイナンバーカードを使って利用できるサービスはない。

**答** 3年3月までにカードを申請すると9月までポイント取得が可能となる。ポイント手続き用のパソコンを市民課や市民センター、あかし総合窓口を設置している。

#### キャッシュレス決済のポイント還元事業による経済対策

**問** 実施時期や期間などは。  
**答** 事業の詳細は確定していないが、サポート利用券の利用期限が終了する6月30日以降に実施したい。経済動向を注視し、効果的なものになるよう検討する。



市民課のマイナンバー交付窓口

※現在は4月末まで延長。

### 建設企業常任委員会

#### 飲料水の水質保持

**問** 明石川の河川水には、水質基準値内であるが有機フッ素系の化合物が含まれている。その対策は。  
**答** 明石川浄水場では、活性炭処理の頻度を高めることにより化合物を低減している。今後も市民に安心して飲んでもらえるよう水質保全に万全を期していく。

#### 交通政策の取り組み

**問** 令和3年度のコミュニティバス(たこバス)運行補助金が約5千万円増額されているが、内訳は。  
**答** 運行事業者の再公募により人件費・管理費を約2600万円増額したほか、車両の更新費が約1300万円、コロナ禍での利用者減少による減収補填費用が約1100万円となっている。



たこバスの利便性向上を

**問** たこバスは、高齢者の運賃無償化よりも、増便やルートの拡充を望む声が多い。増便で利用者が増やし利益を得るか、利益を出してから増便するのか判断は難しいが、市の考えは。  
**答** 増便はサービス向上につながるが、利用者の大幅な増加は見込めないため、経費の増加が避けられない。2年度に設置した高齢者等の移動支援のあり方検討会の議論も踏まえ検討していきたい。